

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度 めざす成果および戦略											
項目		成果指標と目標値			計画			自己評価								
					めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況 a:順調 b:順調でない	課題	今後の対応方向 改善策	
								A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない					
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて															
(1)	豊かなコミュニティの実現															
					[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。	・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」・「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50%以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。		「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合:91%	102団体 85%	A A		A	a	—	—
		㊦ 人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上				A	未測定:各取組みを進めることにより、コミュニティの活性化への意識が醸成されていくと思われる。 〔区民モニターアンケート:近所どうして声かけ等が行われていると感じる人の割合39%〕	—	A	A	b	有償ボランティアの取組みを更に活用し、制度の対象にならない軽微なニーズとマンパワーのマッチングを拡げていくことが必要。	有償ボランティアの仕組みの認知度を高めるとともに、利用しやすい仕組みとなるよう工夫する。	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度											
				具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価							
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
									・目標達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった ・目標未達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった ・撤退基準未達成	○ : 有効 × : 有効でないため見直す					
1	『大きな公共を担う活力ある地域社会づくり』に向けて														
(1)	豊かなコミュニティの実現														
⑦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰もが楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等へ広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—		
				[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラボ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラボの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—		
				[5-1-3] 地域に潜在するマンパワーと既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助)等をマッチングし、お互いに助け、助けられることで支え合う有償ボランティアの仕組みを構築する。そしてその仕組みを利用することにより他者とのつながりをつくり、孤立の解消を進めることによって、地域コミュニティの活性化を図る。	・事業参加者に対するアンケートにおいて「事業実施前よりコミュニティが活性化したと感じる」と回答する者の割合50%以上	割合が40%を下回れば、実施手法を見直す	・平成27年度からの新規事業 ・平成27年10月24日事業説明会開催 ・平成28年2月1日 事業拠点「ひとしごと館」開設	平成28年4月 NHKラジオで紹介 平成28年6月 広報用チラシ作成 平成28年9月～フリーペーパーおよびイベント情報チラシ発行 平成29年3月末現在会員数:35人	未測定(コミュニティが活性化と思う人の割合がアンケート調査では約85%あり、この事業に対する期待が伺われる。)	(i)	○	有償ボランティアの仕組みを持続可能なものとするためには、会員数を増やすことと有償ボランティアのマッチング数を増やすことが必要。	会員登録をしやすくするために会費設定の見直しを行い、また、区の広報紙を活用して特集記事を掲載するなど、会員を増やすための新たな取組みを進める。		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度											
				めざす成果および戦略											
				計画			自己評価								
項目		成果指標と目標値		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策	
							ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない		a：順調 b：順調でない			
(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現														
㊦	地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。	・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」・「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50%以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。	ア	「区民まつり」・「区民文化のつどい」の参加団体数：113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合：91%	102団体 85%	A A		A	a	—	—
㊧	校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。	・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」・「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50%以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。	ア	「区民まつり」・「区民文化のつどい」の参加団体数：113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合：91%	102団体 85%	A A		A	a	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度										
				具体的取組										
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価						
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
									：目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成					
(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現													
⑦	地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援		校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰もが楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—
					[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラプ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラプの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—
④	校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援		校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰もが楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—
					[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラプ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラプの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度												
					めざす成果および戦略												
項目		成果指標と目標値			計画			自己評価									
					めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策		
								ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない		a：順調 b：順調でない				
	(3)	地域資源の循環															
	㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり			平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	—	[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。 ・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」・「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50％以上をめざす。	・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」・「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50％以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。	ア	「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数：113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合：91％	102団体 85％	A A	A	a	—	—
							[5-1] ・各種事業に取り組むことにより包括的な支援体系の強化を図り、地域づくりを促進する。	・平成31年度までに「地域コミュニティが活性化してきていると思う。」とする区民の割合30％を目指す。	・各種事業を実施する中で、地域ネットワークの強化や社会資源の連携体制の構築を図り、地域に潜在するマンパワーの活用や既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助等)へ対応していくことで、地域コミュニティの活性化を進める。	ア	未測定：各取組みを進めることにより、コミュニティの活性化への意識が醸成されていくと思われる。 (区民モニターアンケート：近所どうして声かけ等が行われていると感じる人の割合39％)	—	A	A	b	有償ボランティアの取組みを更に活用し、制度の対象にならない軽微なニーズとマンパワーのマッチングを拡げていくことが必要。	有償ボランティアの仕組みの認知度を高めるとともに、利用しやすい仕組みとなるよう工夫する。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度											
				具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価							
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
									：目標達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成	○：有効 ×：有効でないため見直す					
(3)	地域資源の循環														
⑦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	—	[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰が楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—		
				[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラブ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラブの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—		
				[5-1-3] 地域に潜在するマンパワーと既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助)等をマッチングし、お互いに助け、助けられることで支え合う有償ボランティアの仕組みを構築する。そしてその仕組みを利用することにより他者とのつながりをつくり、孤立の解消を進めることによって、地域コミュニティの活性化を図る。	・事業参加者に対するアンケートにおいて「事業実施前よりコミュニティが活性化したと感じる」と回答する者の割合 50%以上	割合が40%を下回れば、実施手法を見直す	・平成27年度からの新規事業 ・平成27年10月24日事業説明会開催 ・平成28年2月1日 事業拠点「ひとしごと館」開設	平成28年4月 NHKラジオで紹介 平成28年6月 広報用チラシ作成 平成28年9月～フリーペーパーおよびイベント情報チラシ発行 平成29年3月末現在会員数:35人	未測定(コミュニティが活性化と思う人の割合がアンケート調査では約85%あり、この事業に対する期待が伺われる。)	(i)	○	有償ボランティアの仕組みを持続可能なものとするためには、会員数を増やすことと有償ボランティアのマッチング数を増やすことが必要。	会員登録をしやすくするために会費設定の見直しを行い、また、区の広報紙を活用して特集記事を掲載するなど、会員を増やすための新たな取組みを進める。		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度										
					めざす成果および戦略										
					計画			自己評価							
項目		成果指標と目標値			めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策
								ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない		
①	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに 1件以上	[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。	・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」・「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50％以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。	ア	「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合:91％	102団体 85％	A A	A	a	—	—	
				[5-1] ・各種事業に取り組むことにより包括的な支援体系の強化を図り、地域づくりを促進する。	・平成31年度までに「地域コミュニティが活性化してきていると思う。」とする区民の割合30％を目指す。	・各種事業を実施する中で、地域ネットワークの強化や社会資源の連携体制の構築を図り、地域に潜在するマンパワーの活用や既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助等)へ対応していくことで、地域コミュニティの活性化を進める。		未測定:各取組みを進めることにより、コミュニティの活性化への意識が醸成されていくと思われる。 (区民モニターアンケート:近所どうしで声かけ等が行われていると感じる人の割合39％)	—	A					A

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度													
					具体的取組													
項目				成果指標と目標値				計画				自己評価						
								取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
													・目標達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった ・目標未達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった ・撤退基準未達成	○：有効 ×：有効でないため見直す				
					④	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに1件以上	[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰もが楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—
									[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラブ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラブの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—
									[5-1-3] 地域に潜在するマンパワーと既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助)等をマッチングし、お互いに助け、助けられることで支え合う有償ボランティアの仕組みを構築する。そしてその仕組みを利用することにより他者とのつながりをつくり、孤立の解消を進めることによって、地域コミュニティの活性化を図る。	・事業参加者に対するアンケートにおいて「事業実施前よりコミュニティが活性化したと感じる」と回答する者の割合 50%以上	割合が40%を下回れば、実施手法を見直す	・平成27年度からの新規事業 ・平成27年10月24日事業説明会開催 ・平成28年2月1日 事業拠点「ひとしごと館」開設	平成28年4月 NHKラジオで紹介 平成28年6月 広報用チラシ作成 平成28年9月～フリーペーパーおよびイベント情報チラシ発行 平成29年3月末現在会員数:35人	未測定(コミュニティが活性化と思う人の割合がアンケート調査では約85%あり、この事業に対する期待が同われる。)	(i)	○	有償ボランティアの仕組みを持続可能なものとするためには、会員数を増やすことと有償ボランティアのマッチング数を増やすことが必要。	会員登録をしやすくするために会費設定の見直しを行い、また、区の広報紙を活用して特集記事を掲載するなど、会員を増やすための新たな取組みを進める。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針						平成28年度									
						めざす成果および戦略									
						計画			自己評価						
項目		成果指標と目標値			めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策
								ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない		
					[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。	・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」、「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50％以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動に関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。		「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合:91％	102団体 85％	A A		a	—	—
					[5-1] ・各種事業に取り組むことにより包括的な支援体系の強化を図り、地域づくりを促進する。	・平成31年度までに「地域コミュニティが活性化してきていると思う。」とする区民の割合30％を目指す。	・各種事業を実施する中で、地域ネットワークの強化や社会資源の連携体制の構築を図り、地域に潜在するマンパワーの活用や既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助等)へ対応していくことで、地域コミュニティの活性化を進める。	ア	未測定:各取組みを進めることにより、コミュニティの活性化への意識が醸成されていくと思われる。 (区民モニターアンケート:近所どうして声かけ等が行われていると感じる人の割合39％)	—	A	A	b	有償ボランティアの取組みを更に活用し、制度の対象にならない軽微なニーズとマンパワーのマッチングを上げていくことが必要。	有償ボランティアの仕組みの認知度を高めるとともに、利用しやすい仕組みとなるよう工夫する。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度										
					具体的取組										
項目			成果指標と目標値			計画				自己評価					
						取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策
											・目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった ・目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった ・撤退基準未達成	○：有効 ×：有効でないため見直す			
⑦	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰もが楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニテイスchoolの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニテイスchoolを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニテイスchoolの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—		
				[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラブ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラブの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—		
				[5-1-3] 地域に潜在するマンパワーと既存制度の対象にならない福祉ニーズ(日常生活上の軽微な援助)等をマッチングし、お互いに助け、助けられることで支え合う有償ボランティアの仕組みを構築する。そしてその仕組みを利用することにより他者とのつながりをつくり、孤立の解消を進めることによって、地域コミュニティの活性化を図る。	・事業参加者に対するアンケートにおいて「事業実施前よりコミュニティが活性化したと感じる」と回答する者の割合 50%以上	割合が40%を下回れば、実施手法を見直す	・平成27年度からの新規事業 ・平成27年10月24日事業説明会開催 ・平成28年2月1日 事業拠点「ひとしごと館」開設	平成28年4月 NHKラジオで紹介 平成28年6月 広報用チラシ作成 平成28年9月～フリーペーパーおよびイベント情報チラシ発行 平成29年3月末現在会員数:35人	未測定(コミュニティが活性化と思う人の割合がアンケート調査では約85%あり、この事業に対する期待が同われる。)	(i)	○	有償ボランティアの仕組みを持続可能なものとするためには、会員数を増やすことと有償ボランティアのマッチング数を増やすことが必要。	会員登録をしやすくするために会費設定の見直しを行い、また、区の広報紙を活用して特集記事を掲載するなど、会員を増やすための新たな取組みを進める。		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度											
					めざす成果および戦略											
項目			成果指標と目標値		計画			自己評価								
					めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策	
								A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない					a:順調 b:順調でない
	(4)	地域公共人材の充実と中間支援組織の活用														
		㊦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。 ・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」、「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50%以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。		「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合:91%	102団体 85%	A A		A	a	—	—
		㊩	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[4-1] ・中間支援組織等と連携し、地域活動協議会などの活動を通じて、区民が自主的・主体的に地域運営に参画する気運を醸成し、地域活動をさらに活性化させる。 ・平成29年度までに、平成24年度(89団体)に比して、「区民まつり」、「区民文化のつどい」の、参加団体数の増加をめざす。 ・平成29年度までに、区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合50%以上をめざす。	・地域の特性に応じたコミュニティ事業・活動を積極的に支援し、これまで地域活動へ関わりのない区民などを含め、区民まつりや各種事業への参加者を増やすことで、あらたな「つながり」「きずな」を築き、地域力の強化をめざす。		「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体 区民まつり、区民文化祭など、コミュニティ育成事業に対して、満足している参加者の割合:91%	102団体 85%	A A		A	a	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度												
				具体的取組												
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価								
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策			
									・目標達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった ・目標未達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった ・撤退基準未達成							
	(4)	地域公共人材の充実と中間支援組織の活用														
					[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰が楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—		
	㊦		地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラプ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラプの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—	
						[4-1-1] ・世代間の交流、わがまち意識を高めるとともに、コミュニケーションの場として、あらゆる世代の誰が楽しめる区民まつりなどを開催する。 ・ナニワ区民まつりの開催(9月実施) ・区民文化のつどいの開催(11月実施) ・こどもカーニバルの開催(3月実施) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月実施) ・コミュニティづくりへの意識啓発をはかるため、地域での様々な活動をホームページなどで区民・団体等に広く情報提供する。	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数を平成24年度(89団体)に比して増加させる。	目標で、平成24年度より10%減少となれば、事業を再構築する	・ナニワ区民まつり、区民文化のつどい、こどもカーニバル、各種講習会、コミュニティスクールを実施	・ナニワ区民まつりの開催(9月) ・区民文化のつどいの開催(11月) ・こどもカーニバルの開催(3月) ・各種講習会の開催(通年実施) ・コミュニティスクールの開催(2月) ・地域活動の情報発信(広報誌など)	・平成28年度「区民まつり」「区民文化のつどい」の参加団体数:113団体	(i)	○	—	—	
	㊧		中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[4-1-2] ・中間支援組織を活用し、市民活動団体の組織運営・会計の透明性の確保について、会計事務説明会や区ホームページの活用などにより支援する。 ・会計事務説明会等の実施。(年2回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・中間支援組織による地域活動の研究フォーラムの開催や、情報誌の発行を行い、新たな活動団体や担い手の参画を促進する。 ・「なにわ区ラボ」の開催、「なにわ区ラプ」の発行。(4回) ・各地域活動協議会の広報を支援し、幅広い情報提供を行う。 ・「地域だより」の発行支援。(10回)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合50%以上	目標が40%未満であれば、事業を再構築する。	・会計事務説明会の実施(2回) ・区ホームページにおいて、地域活動協議会事業計画、地域だよりを公開 ・なにわ区ラボの実施(5回)、なにわ区ラプの発行(3回)	・会計事務説明会等の実施。(年3回) ・事業計画書・収支予算書などの公開。 ・「なにわ区ラボ」の開催(4回) ・「地域だより」の発行支援(25回)、ブログ作成・更新支援(通年) ・区広報誌で地域活動協議会の情報発信(毎月)	・地域活動協議会が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている割合:93%	(i)	○	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度											
				めざす成果および戦略											
項目		成果指標と目標値		計画			自己評価								
				めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況 a:順調 b:順調でない	課題	今後の対応方向・改善策	
							A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない					
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて														
(1)	区における住民主体の自治の実現														
⑦	多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	{6-1} ・区長が自らの権限と責任において、多様な区民のニーズを的確に把握し、区の特性を活かした住民主体の区政運営を実現する。 ・区民に信頼される利便性の高い区役所づくりに努める。	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成29年度までに60%以上をめざす。	・区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の声を区政会議などを通じて聴取し、住民主体の区政運営を実現する。 ・身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな意見を聴取し関係局と綿密に連携しながらより良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。	A	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成28年度:56.9%	—	A	A	a	・区民モニター結果では、区政会議を知っている割合が9%であった。今後、さらに積極的な情報発信を行っていく必要がある。	・区広報紙、ホームページやSNSを積極的に活用する。	
		区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	{6-1} ・区長が自らの権限と責任において、多様な区民のニーズを的確に把握し、区の特性を活かした住民主体の区政運営を実現する。 ・区民に信頼される利便性の高い区役所づくりに努める。	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成29年度までに60%以上をめざす。	・区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の声を区政会議などを通じて聴取し、住民主体の区政運営を実現する。 ・身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな意見を聴取し関係局と綿密に連携しながらより良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。	A	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成28年度:56.9%	—	A	A	a	・区民モニター結果では、区政会議を知っている割合が9%であった。今後、さらに積極的な情報発信を行っていく必要がある。	・区広報紙、ホームページやSNSを積極的に活用する。	
		区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	{様式3 取組項目5} ・行政情報の的確な発信に努めるとともに、区政運営をはじめとする区の特性に応じた特色ある事業、施策、活動内容などの情報を区民に届け、幅広い層への情報の浸透を図る。	・区の事業・施策のお知らせなどを広報紙やホームページで情報を得ている区民の割合:60%以上	・多種多様な区民ニーズに応じ、広報紙やホームページの充実を図る。 ・SNS(ツイッター・フェイスブック)などを積極的に活用し、時期やニーズに応じた効果的な情報発信を継続する。	—	—	—	—	—	—	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針			平成28年度 具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価						
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
									目標達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成					
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて													
	(1)	区における住民主体の自治の実現												
⑦		多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[6-1-1] ・区政運営等について区民の意見を十分に聴取し、事業や施策に反映させるため区政会議を開催する。(3回以上) ・必要に応じてテーマ別の部会を開催し、意見や評価を事業や施策に反映させる。 [6-1-2] ・「区民モニター」、「皆さまからの声」などから、区民ニーズを的確に把握する。住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、より良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。 ・区民モニターの実施：年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置：通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有：年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」：年2回	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させる件数：5件	・左記目標が1件も達成できなければ、事業を再構築する。	・平成23年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成24年度2件 ・平成24年度：4回開催 意見や評価の反映件数：平成25年度5件 ・平成25年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成26年度5件 ・平成26年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成27年度7件 ・平成27年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成28年度6件	・区政会議は、平成28年度[3回開催]。 第1回：7月28日、第2回：11月21日、第3回：2月27日 ・各部会は、平成28年度[合計6回開催]。 防犯防災環境部会、まちづくり賑わい部会、健康福祉教育部会の各部会ともに2回開催。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させた件数：6件	()	○	—	—
			区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[6-1-1] ・区政運営等について区民の意見を十分に聴取し、事業や施策に反映させるため区政会議を開催する。(3回以上) ・必要に応じてテーマ別の部会を開催し、意見や評価を事業や施策に反映させる。 [6-1-2] ・「区民モニター」、「皆さまからの声」などから、区民ニーズを的確に把握する。住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、より良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。 ・区民モニターの実施：年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置：通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有：年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」：年2回	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させる件数：5件	・左記目標が1件も達成できなければ、手法を再構築する。	・平成23年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成24年度2件 ・平成24年度：4回開催 意見や評価の反映件数：平成25年度5件 ・平成25年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成26年度5件 ・平成26年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成27年度7件 ・平成27年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成28年度6件	・区政会議は、平成28年度[3回開催]。 第1回：7月28日、第2回：11月21日、第3回：2月27日 ・各部会は、平成28年度[合計6回開催]。 防犯防災環境部会、まちづくり賑わい部会、健康福祉教育部会の各部会ともに2回開催。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させた件数：6件	()	○	—	—
			区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[6-1-1] ・区政運営等について区民の意見を十分に聴取し、事業や施策に反映させるため区政会議を開催する。(3回以上) ・必要に応じてテーマ別の部会を開催し、意見や評価を事業や施策に反映させる。 [6-1-2] ・「区民モニター」、「皆さまからの声」などから、区民ニーズを的確に把握する。住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、より良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。 ・区民モニターの実施：年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置：通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有：年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」：年2回	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させる件数：5件	・左記目標が1件も達成できなければ、手法を再構築する。	・平成23年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成24年度2件 ・平成24年度：4回開催 意見や評価の反映件数：平成25年度5件 ・平成25年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成26年度5件 ・平成26年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成27年度7件 ・平成27年度：3回開催 意見や評価の反映件数：平成28年度6件	・区政会議は、平成28年度[3回開催]。 第1回：7月28日、第2回：11月21日、第3回：2月27日 ・各部会は、平成28年度[合計6回開催]。 防犯防災環境部会、まちづくり賑わい部会、健康福祉教育部会の各部会ともに2回開催。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させた件数：6件	()	○	—	—
			区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	・多種多様な区民ニーズに応じ、広報紙やホームページの充実を図る。 ・SNS(ツイッター・フェイスブック)などを積極的に活用し、時期やニーズに応じた効果的な情報発信を継続する。	・区の事業・施策のお知らせなどを広報紙やホームページで情報を得ている区民の割合：60%以上	—	—	・広報紙の2面を特集面として活用し魅力あふれる紙面構成や内容の充実を図った。 ・ホームページやSNSを積極的に活用し区のイベントや事業、施策のお知らせなどを時期やニーズに対応し幅広く効果的な情報発信に努めた。	・区の事業・施策のお知らせなどを広報紙やホームページで情報を得ている区民の割合：64% ・広報紙での特集記事企画：年12回	()	—	—	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度												
				めざす成果および戦略												
				計画			自己評価									
項目		成果指標と目標値		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに 対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の 進捗状況	課題	今後の対応方向 ・ 改善策		
							ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない		a：順調 b：順調でない				
		④	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに 60％以上	[6-1] ・区長が自らの権限と責任において、多様な区民のニーズを的確に把握し、区の特性を活かした住民主体の区政運営を実現する。 ・区民に信頼される利便性の高い区役所づくりに努める。	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成29年度までに60％以上をめざす。	・区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の声を区政会議などを通じて聴取し、住民主体の区政運営を実現する。 ・身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな意見を聴取し関係局と綿密に連携しながらより良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。	ア	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成28年度：56.9％	—	A	A	a	・区民モニター結果では、区政会議を知っている割合が9％であった。今後、さらに積極的な情報発信を行っていく必要がある。	・区広報紙、ホームページやSNSを積極的に活用する。
				区役所が、区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに 60％以上	[6-1] ・区長が自らの権限と責任において、多様な区民のニーズを的確に把握し、区の特性を活かした住民主体の区政運営を実現する。 ・区民に信頼される利便性の高い区役所づくりに努める。	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成29年度までに60％以上をめざす。	・区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の声を区政会議などを通じて聴取し、住民主体の区政運営を実現する。 ・身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな意見を聴取し関係局と綿密に連携しながらより良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。	ア	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成28年度：56.9％	—	A	A	a	・区民モニター結果では、区政会議を知っている割合が9％であった。今後、さらに積極的な情報発信を行っていく必要がある。	・区広報紙、ホームページやSNSを積極的に活用する。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度									
				具体的取組									
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価					
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策
									目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :撤退基準未達成	○:有効 ×:有効でないため見直す			
④	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[6-1-1] ・区政運営等について区民の意見を十分に聴取し、事業や施策に反映させるため区政会議を開催する。(3回以上) ・必要に応じてテーマ別の部会を開催し、意見や評価を事業や施策に反映させる。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させる件数:5件	・左記目標が1件も達成できなければ、事業を再構築する。	・平成23年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成24年度2件 ・平成24年度:4回開催 意見や評価の反映件数:平成25年度5件 ・平成25年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成26年度5件 ・平成26年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成27年度7件 ・平成27年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成28年度6件	・区政会議は、平成28年度[3回開催]。 第1回:7月28日、第2回:11月21日、第3回:2月27日 ・各部会は、平成28年度[合計6回開催]。 防犯防災環境部会、まちづくり賑わい部会、健康福祉教育部会の各部会ともに2回開催。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させた件数:6件	()	○	—	—
			区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[6-1-2] ・「区民モニター」、「皆さまからの声」などから、区民ニーズを的確に把握する。住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、より良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。 ・区民モニターの実施:年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置:通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有:年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」:年2回	・区民モニター、皆さまからの声などによって区政等に反映させる件数:5件以上	・左記目標が1件も達成できなければ、手法を再構築する。	・反映件数 平成27年度3件	・「区民モニター」、「皆さまからの声」などの住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、区政へ反映させた:6件 ・区民モニターの実施:年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置:通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有:年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」:年2回	・「区民モニター」、「皆さまからの声」などの住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、区政へ反映させた:6件	()	○	—
		区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合		H29年度までに60%以上	[6-1-1] ・区政運営等について区民の意見を十分に聴取し、事業や施策に反映させるため区政会議を開催する。(3回以上) ・必要に応じてテーマ別の部会を開催し、意見や評価を事業や施策に反映させる。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させる件数:5件	・左記目標が1件も達成できなければ、事業を再構築する。	・平成23年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成24年度2件 ・平成24年度:4回開催 意見や評価の反映件数:平成25年度5件 ・平成25年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成26年度5件 ・平成26年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成27年度7件 ・平成27年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成28年度6件	・区政会議は、平成28年度[3回開催]。 第1回:7月28日、第2回:11月21日、第3回:2月27日 ・各部会は、平成28年度[合計6回開催]。 防犯防災環境部会、まちづくり賑わい部会、健康福祉教育部会の各部会ともに2回開催。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させた件数:6件	()	○	—
			区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[6-1-2] ・「区民モニター」、「皆さまからの声」などから、区民ニーズを的確に把握する。住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、より良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。 ・区民モニターの実施:年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置:通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有:年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」:年2回	・区民モニター、皆さまからの声などによって区政等に反映させる件数:5件以上	・左記目標が1件も達成できなければ、手法を再構築する。	・反映件数 平成27年度3件	・「区民モニター」、「皆さまからの声」などの住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、区政へ反映させた:6件 ・区民モニターの実施:年1回 ・皆さまからの声BOX庁内設置:通年 ・行政連絡調整会議での「市民の声」情報共有:年6回 ・地域担当職員による地域情報の収集:11地域 ・「区長が子どもの声を聴く会」:年2回	・「区民モニター」、「皆さまからの声」などの住民サービスに関わる各担当局署と綿密に情報共有し、区政へ反映させた:6件	()	○	—

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成28年度												
				めざす成果および戦略												
項目		成果指標と目標値		計画			自己評価									
				めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向・改善策		
							A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない				
(2)	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり															
㊦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに 80%以上	[6-1] ・区長が自らの権限と責任において、多様な区民のニーズを的確に把握し、区の特性を活かした住民主体の区政運営を実現する。 ・区民に信頼される利便性の高い区役所づくりに努める。	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成29年度までに60%以上をめざす。	・区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の声を区政会議などを通じて聴取し、住民主体の区政運営を実現する。 ・身近な総合行政の拠点として、区民から寄せられるさまざまな意見を聴取し関係局と綿密に連携しながらより良い住民サービスに繋がるよう、区政へ反映させる。	ア	・区政会議を知っている区民のうち区役所が区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成28年度:56.9%	—	A	A	a	・区民モニター結果では、区政会議を知っている割合が9%であった。今後、さらに積極的な情報発信を行っていく必要がある。	・区広報紙、ホームページやSNSを積極的に活用する。		
				[6-2] ・区民満足度の高い窓口をめざす。	・平成30年度末までに、来庁者への案内等区役所の窓口業務について、サービスが良いと感じている区民の割合60%以上をめざす。 ・平成30年度末までに、窓口受付から交付までの完了時間を、1件あたり平均10分以内をめざす。	・窓口の待ち時間短縮を図るため、窓口で受け付けた証明書等の申請書受付から交付までの時間短縮等に取り組む。	ア	・平成30年度末までに、来庁者への案内等区役所の窓口業務について、サービスが良いと感じている区民の割合 平成28年度:73.8%	71%	A	A	a	—	—		
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営															
㊦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合	H29年度までに 80%以上	[6-2] ・区民満足度の高い窓口をめざす。	・平成30年度末までに、来庁者への案内等区役所の窓口業務について、サービスが良いと感じている区民の割合60%以上をめざす。 ・平成30年度末までに、窓口受付から交付までの完了時間を、1件あたり平均10分以内をめざす。	・窓口の待ち時間短縮を図るため、窓口で受け付けた証明書等の申請書受付から交付までの時間短縮等に取り組む。	ア	・平成30年度末までに、来庁者への案内等区役所の窓口業務について、サービスが良いと感じている区民の割合 平成28年度:73.8%	71%	A	A	a	—	—		
		区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに 3.5点以上						31.0分	A						
㊧	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに 60%以上	[様式3 取組項目1] ・経常経費(物件費)の節減・人件費の抑制・独自財源の確保を図り、効率的な業務執行・業務運営を行う。	—	・節電等による取組みや事務の効率化による経常経費の削減を図るとともに、区役所庁舎を活用した広告収入など独自財源の確保に取組み、超過勤務の適正管理、事務分担の見直しや業務改善に取組む。	—	—	—	—	—	—	—	—		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(浪速区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成28年度										
					具体的取組										
項目		成果指標と目標値			計画				自己評価						
					取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
										・目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった ・目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった ・撤退基準未達成					
(2)	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり														
⑦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	[6-1-1] ・区政運営等について区民の意見を十分に聴取し、事業や施策に反映させるため区政会議を開催する。(3回以上) ・必要に応じてテーマ別の部会を開催し、意見や評価を事業や施策に反映させる。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させる件数:5件	・左記目標が1件も達成できなければ、事業を再構築する。	・平成23年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成24年度2件 ・平成24年度:4回開催 意見や評価の反映件数:平成25年度5件 ・平成25年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成26年度5件 ・平成26年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成27年度7件 ・平成27年度:3回開催 意見や評価の反映件数:平成28年度6件	・区政会議は、平成28年度[3回開催]。 第1回:7月28日、第2回:11月21日、第3回:2月27日 ・各部会は、平成28年度[合計6回開催]。 防犯防災環境部会、まちづくり賑わい部会、健康福祉教育部会の各部会ともに2回開催。	・区政会議における意見や評価を事業や施策に反映させた件数:6件	()	○	—	—		
				[6-2-2] ・来庁・電話・インターネット等で寄せられる日常生活の中でのさまざまな相談に対し、各関係局等と連携して迅速に対応する。 ・行政連絡調整会議の開催:年12回	・各関係局等との情報交換を密にし、連携によって区民からの相談や要望、意見に対して適切な対応を行う:全件	・左記目標で10件以上未対応件数が発生する場合は手法を再構築する。	・未対応件数 平成24年度0件、平成25年度0件、平成26年度0件、平成27年度0件	・来庁・電話・インターネット等で寄せられる日常生活の中でのさまざまな相談に対し、各関係局等と連携して迅速に対応した。(全件) ・行政連絡調整会議(小会議含む)の開催。(年12回)	・区民からの要望等に対し適切に対応した。(全件)	()	○	—	—		
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営														
⑦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での応対が良いと感じた区民の割合	H29年度までに80%以上	[6-2-1] ・毎月第4週を計測週と定め、各工程ごとの所要時間測定を行う。 ・委託業者と毎月定例会議を開催する。 ・来庁者アンケートの実施	・窓口サービス(住民情報)に関するアンケートにおける市民満足度80%以上	・左記目標が70%未満の場合は取組内容を再構築する。	・来庁者アンケートの実施	・毎月第4週を基本として、各工程ごとの時間計測を行った。 ・委託業者と毎月定例会議を実施した。 ・来庁者アンケートを実施した(平成28年5月・8月・11月、平成29年2月)	窓口サービス(住民情報)における市民満足度94.7%	()	○	アンケート項目のうち「交付までの待ち時間」の満足度が低く(84%)、更なる待ち時間の短縮に取り組む必要がある。	委託事業者との定例会議を通じて、引き続き改善策を検討していく。		
		区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに3.5点以上												
①	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	[様式3 取組項目1] ・新たな収入方策の検討 ・電灯の間引きやこまめな消灯など、継続的な節電の取組みにより、節電意識の浸透を図る。 ・コピーの両面化、供覧文書の電子化を促す。 ・ノー残業デーを徹底するとともに超過勤務の執行を適正に管理し、必要に応じて課長とのヒアリングを実施する。	・区役所庁舎の平成28年度電気使用量を平成25年度に比して1%削減する。	目標が達成されなかった場合は、取組内容を抜本的に見直す。	—	・BEMSの導入及び電灯のLED化推進による節電対策の実施 ・会議用モニターの導入によるペーパーレス会議の推進	・電力使用量(kwh) H28(2月まで)639,404kwh 対H25同月比 ▲9.3% ・コピー使用量(枚) H28(2月まで)1,601,387枚 対H27同月比 ▲4.8%	()	—	・新たな収入確保に向け、庁舎の有効活用を含め引き続き検討する必要がある。 ・経費削減に向けた職員一人ひとりの意識改革を一層進め、決裁文書等の電子化や不要照明の消灯徹底などに引き続き取り組んで行く必要がある。 ・ワークライフバランスの推進と超過勤務の縮減に向け、業務の効率化について引き続き取り組む必要がある。	—		